



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月4日

上場会社名 株式会社エスイー 上場取引所 東  
コード番号 3423 URL <https://www.se-corp.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮原 一郎  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 野島 久弘 TEL 03-3340-5500  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	5,603	△0.1	112	△47.5	96	△56.5	42	△70.4
2023年3月期第1四半期	5,608	1.1	213	△62.1	222	△61.6	142	△60.2

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 50百万円 (△62.8%) 2023年3月期第1四半期 134百万円 (△76.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	1.40	—
2023年3月期第1四半期	4.74	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	24,279	10,085	41.4	332.47
2023年3月期	25,493	10,428	40.7	343.81

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 10,043百万円 2023年3月期 10,385百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	0.00	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,013	2.2	779	△41.7	800	△41.9	460	△47.1	15.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	31,256,600株	2023年3月期	31,256,600株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,048,528株	2023年3月期	1,048,528株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	30,208,072株	2023年3月期1Q	30,108,072株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和による経済活動の正常化が進み、個人消費や設備投資などの持ち直しが見られました。一方で、地政学的リスクの高まり、資源価格及び原材料価格の上昇、供給面での制約、世界的な物価の高騰とそれに対応する各国の金融引締めによる海外景気の下振れリスク等の懸念により、先行きは依然として不透明な状況が継続しております。また、世界経済についても、各国の政策等による持ち直しが期待されるなか、米欧のインフレ抑制と成長の両立、中国経済の持続的成長への回復には依然として不透明な状況が継続しております。

当社グループと関連の深い建築・土木市場においては、官公庁工事はここ数年の高水準を維持、民間設備投資は漸く回復の兆しが見えてきており、アジア・アフリカにおける現地経済活動も新型コロナウイルス感染症拡大前の状況に戻りつつあります。

このような経営環境のもと当社グループでは、2023年5月に公表した「中期経営計画2023-2025」において、2030年度を見据え、既存事業の土台固めのため生産を含めたサプライチェーンの効率化等を図るとともに、未来に向けた種まきのための実行体制を編成し、施策を確実に実施する体制としております。また、「中期経営計画2020-2022」の中で取り組んでおりました戦略的資源投入につきましては、エネルギー関連事業は次なる研究ステージに進み、海外関連では新たな事業の展開に着手するなど、新しい事業分野への足掛かりを固めるための先行投資を更に強化していくこととしております。これらにより、エスイーグループとして持続的な成長と企業価値の向上に取り組んでまいります。また、昨今の原材料価格の上昇に対しては、営業部門と生産部門の連携により調達を最適化するとともに販売価格への転嫁を進めるなど計画利益の確保に努めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、建築用資材製造販売の中小規模案件が高稼働となり工事が順調に推移していること、建設コンサルタント事業における現地活動の制限がなくなったことにより案件消化が予定通りに進捗しておりますが、建設用資機材の製造販売において橋梁関連の現場工程遅延が継続したことにより、売上高56億3百万円（前年同期比0.1%減）と減収となりました。

利益面では、原材料価格上昇分の価格転嫁は進んでおりますが、上述の橋梁関連の納入遅延が主因となり、営業利益1億12百万円（前年同期比47.5%減）、経常利益96百万円（前年同期比56.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益42百万円（前年同期比70.4%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (建設用資機材の製造・販売事業)

この事業では、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」への対応が進められている中、橋梁更新工事や豪雨災害などの対策工事が進められております。そのようななか、当第1四半期連結累計期間におきましては、引き続き好環境下ではあるものの、橋梁関連の現場工程遅延が継続していることに加え、コンクリート関連は案件の端境期となっており前年度に比べ工事が減少しております。

この結果、この事業の売上高は23億72百万円（前年同期比7.5%減）、営業損失33百万円（前年同期は1億28百万円の営業利益）となりました。

#### (建築用資材の製造・販売事業)

この事業では、建築金物分野におきまして、内装関連は依然として新型コロナウイルス感染症の拡大の影響が残っており民間設備投資の意欲は低い状況となっておりますが、仮設部門は首都圏における都市開発等をはじめ中小物件が高稼働を維持しており工事が順調に推移しております。また、鉄骨工事分野においては、繰越案件も前年並みの中、順調な製造・工事進捗となっております。利益面では、原材料価格上昇分の価格スライドが認められ、利益率が上昇しました。

この結果、この事業の売上高は25億68百万円（前年同期比12.4%増）、営業利益1億88百万円（前年同期比20.9%増）となりました。

(建設コンサルタント事業)

この事業では、フランス語圏での強みを活かして、アジア・アフリカ圏をはじめとする各国での道路・橋梁建設や公共性の高い設備機材整備、環境改善等についてのコンサルタント事業を展開、新規分野として国内外におけるBIM/CIM適用事業支援業務への参画を目指しております。

当第1四半期連結累計期間におきまして、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による現地活動の制限がなくなり、受注している案件が順調に進捗しました。

この結果、この事業の売上高は2億21百万円（前年同期比72.1%増）、営業利益は3百万円（前年同期は21百万円の営業損失）となりました。

(補修・補強工事業)

この事業では、社会インフラ老朽化対策における橋梁、トンネルの補修・補強工事を推し進めております。国土強靱化対策等が進捗しており、受注環境は引続き良好に推移しております。当第1四半期連結累計期間においては、工事中の案件の再設計や設計見直しが発生し工程が遅延しましたが、予定通り進捗している工事の中で増額や利益率改善等、利益確保に努めました。

この結果、この事業の売上高は4億41百万円（前年同期比29.9%減）、営業利益54百万円（前年同期比4.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は242億79百万円（前連結会計年度末比12億14百万円減）となりました。内訳は、流動資産157億22百万円（前連結会計年度末比15億8百万円減）、有形固定資産70億21百万円（前連結会計年度末比1億76百万円増）、無形固定資産1億67百万円（前連結会計年度末比14百万円減）、投資その他の資産13億68百万円（前連結会計年度末比1億31百万円増）でありました。資産の減少の主な要因は、電子記録債権が2億79百万円、建設仮勘定が1億30百万円、繰延税金資産を主としたその他投資が1億19百万円、原材料及び貯蔵品が1億円増加しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産が12億50百万円、現金及び預金が6億31百万円減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は141億93百万円（前連結会計年度末比8億71百万円減）となりました。内訳は、流動負債が95億6百万円（前連結会計年度末比5億33百万円減）、固定負債が46億87百万円（前連結会計年度末比3億38百万円減）でありました。負債の減少の主な要因は、預り金を主としたその他流動負債が1億38百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が4億68百万円、借入金が3億83百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は100億85百万円（前連結会計年度末比3億42百万円減）となりました。純資産の減少の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が42百万円増加しましたが、株主配当金の支払いにより利益剰余金が3億92百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、現時点では2023年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,630,583	3,998,676
受取手形、売掛金及び契約資産	7,348,420	6,098,164
電子記録債権	1,649,844	1,929,367
商品及び製品	758,452	809,546
仕掛品	678,279	648,553
原材料及び貯蔵品	1,674,450	1,775,361
その他	518,470	487,955
貸倒引当金	△27,671	△25,222
流動資産合計	17,230,829	15,722,402
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,483,134	2,489,870
機械装置及び運搬具(純額)	788,817	839,838
工具、器具及び備品(純額)	88,390	98,484
土地	3,054,542	3,054,542
リース資産(純額)	341,761	319,939
建設仮勘定	88,006	218,665
有形固定資産合計	6,844,652	7,021,341
無形固定資産		
のれん	72,898	63,458
その他	109,023	104,097
無形固定資産合計	181,922	167,555
投資その他の資産		
投資有価証券	215,212	227,599
その他	1,049,560	1,169,413
貸倒引当金	△28,254	△28,644
投資その他の資産合計	1,236,518	1,368,367
固定資産合計	8,263,093	8,557,264
資産合計	25,493,923	24,279,667

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,768,761	3,299,947
電子記録債務	2,550,907	2,554,209
短期借入金	600,522	600,522
1年内返済予定の長期借入金	1,476,214	1,393,120
未払法人税等	169,506	116,367
賞与引当金	176,722	106,645
その他	1,297,164	1,435,430
流動負債合計	10,039,798	9,506,242
固定負債		
長期借入金	3,468,330	3,167,612
役員退職慰労引当金	572,080	579,119
退職給付に係る負債	434,565	427,509
資産除去債務	171,003	159,215
その他	379,609	353,993
固定負債合計	5,025,588	4,687,450
負債合計	15,065,386	14,193,692
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,228,057	1,228,057
資本剰余金	1,026,676	1,026,676
利益剰余金	8,258,713	7,908,167
自己株式	△192,656	△192,656
株主資本合計	10,320,791	9,970,245
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,320	72,224
繰延ヘッジ損益	55	100
退職給付に係る調整累計額	1,779	857
その他の包括利益累計額合計	65,154	73,183
非支配株主持分	42,590	42,546
純資産合計	10,428,536	10,085,975
負債純資産合計	25,493,923	24,279,667

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	5,608,722	5,603,920
売上原価	4,112,920	4,181,158
売上総利益	1,495,801	1,422,761
販売費及び一般管理費	1,281,999	1,310,431
営業利益	213,802	112,329
営業外収益		
受取利息	74	18
受取配当金	4,552	4,386
受取手数料	1,064	140
受取家賃	2,124	2,176
貸倒引当金戻入額	2,628	2,059
スクラップ売却益	15,517	9,408
その他	6,273	5,167
営業外収益合計	32,235	23,357
営業外費用		
支払利息	6,491	8,583
売上割引	5,108	3,624
為替差損	10,625	25,045
寄付金	1,037	1,262
その他	399	391
営業外費用合計	23,661	38,907
経常利益	222,376	96,780
特別利益		
固定資産売却益	8,584	5,470
特別利益合計	8,584	5,470
特別損失		
固定資産除却損	1,640	142
特別損失合計	1,640	142
税金等調整前四半期純利益	229,321	102,108
法人税等	88,744	59,993
四半期純利益	140,576	42,115
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,074	△43
親会社株主に帰属する四半期純利益	142,651	42,158

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	140,576	42,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,888	8,904
繰延ヘッジ損益	△329	45
退職給付に係る調整額	△1,472	△921
その他の包括利益合計	△5,690	8,028
四半期包括利益	134,886	50,143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	136,961	50,187
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,074	△43

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設用資機 材の製造・ 販売事業	建築用資材 の製造・販 売事業	建設コンサ ルタント事 業	補修・補強 工事業			
売上高							
一時点で移転される財	2,535,707	1,630,985	18,962	169,225	4,354,880	—	4,354,880
一定の期間にわたり移転 される財	—	654,231	109,664	460,552	1,224,448	—	1,224,448
顧客との契約から生じる 収益	2,535,707	2,285,216	128,627	629,777	5,579,329	—	5,579,329
その他の収益	29,392	—	—	—	29,392	—	29,392
外部顧客への売上高	2,565,100	2,285,216	128,627	629,777	5,608,722	—	5,608,722
セグメント間の内部売上 高又は振替高	30,715	567	—	—	31,282	△31,282	—
計	2,595,815	2,285,783	128,627	629,777	5,640,004	△31,282	5,608,722
セグメント利益又は 損失(△)	128,378	156,119	△21,410	56,948	320,035	△106,233	213,802

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△106,233千円には、セグメント間取引消去1,615千円、のれん償却額△11,448千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△96,399千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設用資機 材の製造・ 販売事業	建築用資材 の製造・販 売事業	建設コンサ ルタント事 業	補修・補強 工事業			
売上高							
一時点で移転される財	2,349,022	1,754,932	7,096	132,052	4,243,104	—	4,243,104
一定の期間にわたり移転 される財	—	813,610	214,236	309,185	1,337,032	—	1,337,032
顧客との契約から生じる 収益	2,349,022	2,568,543	221,332	441,238	5,580,136	—	5,580,136
その他の収益	23,784	—	—	—	23,784	—	23,784
外部顧客への売上高	2,372,806	2,568,543	221,332	441,238	5,603,920	—	5,603,920
セグメント間の内部売上 高又は振替高	15,538	10,844	—	617	26,999	△26,999	—
計	2,388,344	2,579,387	221,332	441,855	5,630,920	△26,999	5,603,920
セグメント利益又は 損失(△)	△33,083	188,703	3,346	54,325	213,292	△100,962	112,329

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△100,962千円には、セグメント間取引消去1,700千円、のれん償却額△9,440千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△93,222千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。